

平成 30 年 7 月 11 日

## 農作物の浸水・冠水害から回復に向けた技術対策

JA 三原

このたびの豪雨により被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

7 月 6 日からの降雨により浸水・冠水が発生した圃場・園地では、農作物の生育に多大な影響が懸念されますので、被害を最小限にとどめるよう、事後の対策に努めてください。

### 1. 水 稲

水稲は冠水期間が長引くほど減収率が高まるため、できるだけ早めの排水に努めてください。

表 水稲の生育ステージと冠水被害程度（減収率）

出典：農林水産省統計調査部

生育ステージ	冠水 3 日間	冠水 7 日間	被害の状況等
活着期	0%	0%	排水後は、概ね生育が回復
分けつ期	0%	20%	穂数が減少
幼穂形成期	30%	60%	幼穂枯死等による穂数、籾数減少 奇形穂の発生
穂ばらみ期	60~100%	100%	籾数の減少、不稔の増加
出穂期	65%	80%	不稔籾の増加、出穂の不揃い
糊熟～黄熟期	45%	45%	登熟歩合の低下、穂発芽の発生

○現在の管内の水稲生育ステージ

- ・早期コシヒカリ・・・出穂期
- ・普通期コシヒカリ、あきたこまち、キヌヒカリ・・・幼穂形成期～穂ばらみ期
- ・恋の予感、あきろまん、ヒノヒカリ・・・分けつ期後半

#### (1) 病虫害防除

冠浸水した圃場では、稲体の体力が低下し病虫害に対する抵抗性が低下しやすくなっていますので、**排水後、予防的な防除に努めてください。**

- ・生育ステージが穂ばらみ期にある品種（普通期コシヒカリ、あきたこまち、キヌヒカリ等）では、**予定されていた穂ばらみ期の本田防除を確実に実施**してください。

- ・恋の予感、あきろまん、ヒノヒカリ等の中生品種では、本田防除までの予防措置として、**葉いもちの追加防除**に努めてください。
- ・冠浸水圃場では、白葉枯病の発生が多発する傾向にありますので、発病前に散布し予防に努めてください。（使用薬剤の「使用時期」に注意。）

病害虫	薬剤名	10a 散布量	使用時期・回数
いもち病	ビーム粉剤 DL	3～4 kg	収穫 7 日前まで 3 回以内
	ビームエイトゾル	1,000 倍 100ℓ	
白葉枯病	オリブライト 1 キロ粒剤	1 kg	<b>出穂 10 日前まで</b> 1 回

## (2) 水管理

冠浸水被害を受けた稲体は水分調整や肥料吸収等の機能が低下していますので、**田面が乾きすぎないように**水管理に努めてください。

また、生育ステージが穂ばらみ期にある品種では、水を切らさないように湛水管理に努めてください。

## (3) 施肥管理

流入により堆積した土層は窒素成分が高いことが多く、稲体の窒素濃度が高まりその後の倒伏や食味等に影響を及ぼす可能性があるため、生育を回復させるための追肥は行わないようにしましょう。

## 2. 野菜

- ①排水後、土寄せや追肥、液肥の葉面散布等により、生育の回復に努めてください。
- ②折損した茎葉を除去し、病害を防ぐための薬剤散布を行ってください。
- ③果菜類では、根いたみによる草勢低下を防ぐため、摘果や若採りにより**着果負担を軽減**しましょう。

## 3. 柑橘

冠浸水した園地は速やかな排水対策に努めるとともに、降風雨により病害の発生が助長されるため、**基本防除の徹底と必要に応じた追加防除**に努めてください。

### 【黒点病 追加防除】

- ①かんきつ（レモンを除く）・・・ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤
- ②レモン・・・キノンドー水和剤 80、ストロビードライフフロアブル  
※展着剤・・・アビオン E